

3章全体の要点

日本の貧困層(世帯別)

母子家庭・高齢単身者・若年層

低賃金や不景気・家族間の経済支援の弱まり



貧困層の増加

低すぎる日本の最低賃金

他の先進諸国と比較して、日本の最低賃金制度は非常に劣位



日本は**最低賃金の設定が低すぎる**にもかかわらず、最賃以下の賃金しか受け取れない人が1割も存在する

※最賃以下の賃金・最賃程度の賃金しか受けていない労働者に女性と若者が多い

富裕層: おおよそ1億円以上 あるいはそれ以上の高額所得を得ている人

富裕層の変化



1. 富裕層となる経営者が従事する産業の種類の変化
2. 経営者の種類の変化
3. 企業の規模の変化

地域格差: 中央と地方、都市と田舎でかなりの経済格差が存在する



公共事業の削減政策・商業分野への規制緩和  **地域を疲弊させる**



政府が何ら有効な策をとっていない

※有効な策をとっていれば経済効率を高めることに貢献してくれるかもしれない

結果の平等・機会の平等

結果: 所得や資産といった経済成果について注目し、格差を論ずる

機会: 人が就職活動や経済活動を行うための機会についての格差を論ずる

インセンティブ・デバインド

子供の教育、職業に対しての親の意欲の度合いによって、子供の意欲や希望がある程度決定される

女性の平等

教育の機会の平等・就職の機会の平等・昇進の機会の平等

親の経済状況や男女差別・「統計的差別」という言葉で合理化し、
企業の立場から正当化



現在はこれらを根拠に差別的行動をとることは認められない